

コンバーティング総合情報誌

# コンバーテック

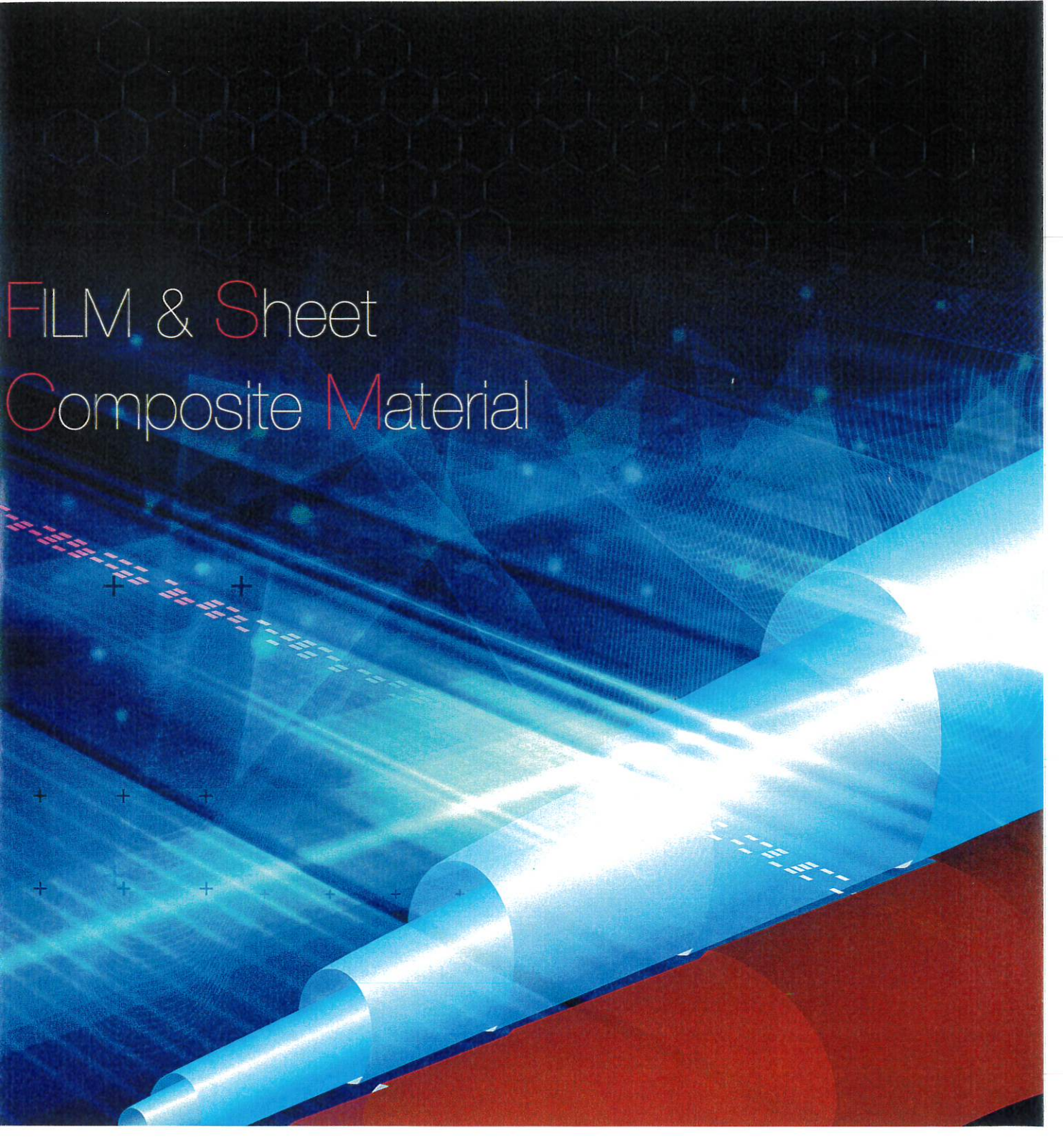
**特集** フィルム・シートとマテリアル

**2021**  
Vol.584  
No.49

**11**

ISSN 0911-2316 **CTI**加工技術研究会

FILM & Sheet  
Composite Material

The background of the cover is a complex, abstract composition. It features a dark blue field with a subtle hexagonal grid pattern. Overlaid on this are various geometric shapes and lines in shades of blue and red. A prominent feature is a bright, glowing blue line that curves across the lower half of the image, resembling a stylized 'S' or a path. There are also several small, white plus signs scattered throughout the blue areas. The overall effect is one of high-tech, modern design.

# コンバーテック



## 編集の視線

- 2 日本茜が生み出すジャパン・レッドの復興を。栽培、染色から製品販売、顔料化にも成功  
..... 日本茜を拡げる会
- 6 CNFに替わる、ユーグレナを使ったPNF。5年後に年産1000トン目指す  
..... スバル
- 10 直径2~8ミリ、反発性のある枕充填材「粒わた」。低融点繊維を混合し、シート化技術も確立  
..... アライ
- 14 紙箱と密封個包装に一新した「日東紅茶 デイリークラブ」。熱圧着テープで金属レスも実現  
..... 三井農林
- 17 Bcomp社の亜麻繊維をレーシングカーに採用。国内でプリプレグ化、CFRP代替も視野に  
..... 童夢
- 22 日本のパッケージの“デザインDNA”を考察。「縄文」「弥生」の造形意識に着眼  
..... 印刷博物館「日本のパッケージ 縄文と弥生のデザイン遺伝子—複雑とシンプル」展
- 27 フィンランド生まれの新たな木質由来素材「PAPTIC」。強度としなやかさに特長、プラ代替用途で提案  
..... 伊藤忠商事
- 30 創立50周年を迎えたクルツジャパン、表面加飾技術で日本の印刷業界に貢献。持続可能性、デジタルデコレーションなど印刷物の高付加価値化支援  
..... レオナルドクルツ社(ドイツ) CEO ワイター・クルツ氏
- 34 大気圧低温プラズマ技術「プラズマライズ」開発。釣り糸などの繊維も均一に表面処理が可能に  
..... サンライン
- 38 FEM解析でウェブの折れシワや巻取ロールの応力状態に迫る。連成解析に意欲、ローラ端部からの空気流出と応力変化を  
..... 長岡技術科学大学 矢鍋重夫 名誉教授
- 45 UV-LED方式IJ印刷機&デジタルコーティング機発売。1800dpiの高精細印刷可能に、FA化対応機能も  
..... ミマキエンジニアリング
- 78 ワンタワー×高速RIPの両面フルカラーIJ機「MJP20EXG」。フルバリアブルで後加工機との連携も  
..... ミヤコシ
- 101 「サーキュラーフード」の推進WT発足。年間253万トンの食品ロスの活用・循環を目指す  
..... フードテック官民協議会内「サーキュラーフード推進ワーキングチーム」
- 105 廃棄パラグライダー生地から作る「HOZUBAG」。亀岡市とファッションブランドが共創  
..... 京都府亀岡市／THEATRE PRODUCTS
- 112 Push to StopとUX満載の最新スピードマスターCX104。まず錦明印刷、大同至高、山田写真製版所が導入  
..... ハイデルベルグ・ジャパン
- 116 衣料裁断くずとPETボトルが原料、100%リサイクル素材でできたTシャツ。スペイン老舗紡績企業の再生糸を使用  
..... 米・GLOBALANCE LLC／アイエヌティ
- 133 レーザー加工や製本技術で紙に価値をプラス。印刷業との相乗効果を目指す  
..... インターナショナルプレミアム・インセンティブショー秋2021
- 137 次世代蓄電池・モーター開発の予算規模1510億円。次世代船舶の開発には320億円  
..... グリーンイノベーションプロジェクトin JAPAN
- 140 UVIJプリンタ「JETI TAURO」、日本1号機を導入。直径60cmの大型ロール搭載、高速印刷に磨き  
..... キングプリンティング／日本アグファ・ゲバルト
- 142 プラスチックフリー実現した環境配慮型ICタグ。欧州の需要に対応、FSC認証紙を採用  
..... 凸版印刷
- 144 共同輸配送でドライバー不足、輸送力低下の解消に期待。11月にSIP地域物流ネットワーク化推進協議会設立  
..... SIP地域物流ネットワーク化推進協議会設立発起人会

# 日本茜が生み出す ジャパン・レッドの復興を 栽培、染色から製品販売、顔料化にも成功

日本古来、染色に用いられてきた「日本茜」を復興させたい。染色工房「かさや儀平」（大阪府泉北郡忠岡町忠岡北2-1-14、TEL.0725-32-0162）代表の杉本一郎さんは、日本茜を普及する団体「日本茜を拡げる会」（<https://japan-red.com/>）を立ち上げ、茜の栽培から染色技術の開発、染色製品の販売に取り組んでいる。杉本さんの理念に共感した、新居紙器(株)常務取締役の新居慶二さんも活動に加わり、（一社）日本アカネ再生機構の設立に向けて、準備を進めている。杉本さんらは、企業の協力を得て、日本茜で染めた衣料品や服飾雑貨を試作。茜の顔料化にも成功し、口紅などの化粧品への応用を目指している。日本茜の復興には、農家の事業継続、地域活性化といった別の狙いも込められている。杉本さんと新居さんに活動の源泉と目指すビジョンについて聞いた。

（高橋綾子）

## 退職後、第2の人生を茜の復興に

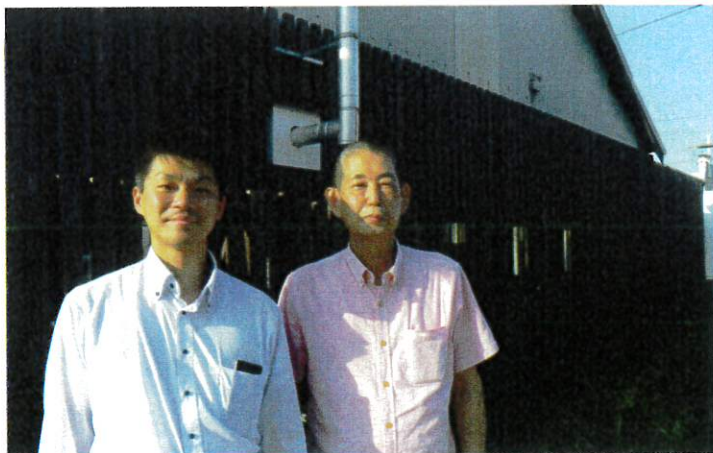
日本茜を拡げる会のある忠岡町は、大阪でも泉州と呼ばれる地域で、大阪湾に面し、海を挟んだ先には関西空港がある。泉州は、古くから綿花の栽培とそれを用いた織物産業がさかんで、杉本さんの実家も織物製造を家業としていた。

杉本さんは、京都工芸繊維大学を卒業後、織物メーカーに入社したが、日本茜を知ったのは、この会社に勤務していた頃のこと。会社が、奈良の正倉院に納められている裂地（当時の染織品）を復元する事業を受け、それに携わった担当者から、「裂地の復元には昔の絹糸や植物染料が必要だが、赤色染料の日本茜が手に入らない」との話を聞いた。杉本さんは言う。

「日本茜は、奈良時代には律令制下の租税である租庸調

の調（特産品など）として、国に納められ、天皇をはじめ貴族の衣服の染めに用いられていましたが、律令制の衰退とともに鎌倉時代には廃れたようです。また、幕末に使用された日本の旗（日の丸）の赤色は茜染だったと言われますが、明治になって海外から化学染料が入ってきて、また廃れてしまいます。こうして歴史を紐解くと、茜染は日本にとって重要な色であるのに、今現在、再現できないのは悲しいことだと思いましてね。同じ草木染の藍染が『ジャパン・ブルー』であるなら、茜染は『ジャパン・レッド』であり、何とか復興して、現代の人々でその良さを享受できないかと思いました」

57歳で織物メーカーを退職した杉本さんは、第2の人生を日本茜の復興にささげようと決め、茜を探して日本各地を巡った。



杉本一郎さん（右）と新居慶二さん



かさや儀平